

JICAの研修員が深層崩壊の現場を視察しました

～日本における災害対策を学び、自国での防災体制の構築を推進～

- 11月28日(木)、各国の公共インフラの整備・管理を担う技術者に対し、日本のインフラ施設にかかる自然災害からの被害の軽減等の取り組みを共有することで、技術者が所属する組織の能力向上を目指すことを目的に、JICA（独立行政法人 国際協力機構）が実施する「インフラ施設（河川・道路・港湾）災害対策とマネジメント」研修の一環で、世界9か国の研修員の方々が紀伊山系砂防事務所へ現場視察に訪れました。
- 平成23年台風第12号で発生した河道閉塞で対策を行った赤谷地区の工事概要や自動化施工などについて、事務所職員が説明し、日本での大規模崩壊地での対策事例を学んでいただきました。



事務所の職員がJICA研修員に説明しているようす

崩壊地の反対側の斜面は崩れましたか？

転圧は何センチ毎にされましたか？

今回、研修に参加した方の出身は・・・

ベリーズ・チリ・インド・インドネシア・
 マラウイ・南アフリカ・スリランカ・
 東ティモール・ベトナム

の9か国です。

視察を終えてみんなで記念撮影

現場視察を終えた研修員の感想

- ・ 度重なる災害や夜間や雪の中等、厳しい条件で工事を進められたことに感心した。
- ・ 自然美しい現場を見学でき、感動した。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課
 〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111 (代)